

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-378-0480

年度	令和4年度
施設名	新潟市文化財センター 他 1施設
施設目的	埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存し、及びこれらの活用を図ることにより、これらに対する市民の関心及び理解を深め、もって市民文化の向上に資するため、新潟市文化財センターを設置する。 日本海側で最大級の規模を誇る円墳である古津八幡山古墳を有し、及び文化財保護法により指定された古津八幡山遺跡に対する歴史遺産としての理解を深めるとともに、社会教育及び文化の向上に資するため、新潟市古津八幡山歴史の広場を設置する（歴史の広場に弥生の丘展示館を置く）。

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	R4.6.23
歳入	14,480	正職員	14(1)
歳出	56,967	会計年度任用職員	32
		修正日	
		評価日	R5.7.20

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標					R4結果
1	市民	埋蔵文化財の保存・活用	・発掘調査報告書刊行(冊)	4	2	3	4	3	開発に対応した本発掘調査、整理作業及び報告書刊行を実施し、調査を着実に完了します。 報告書刊行資料について台帳を作成して収蔵保管するとともに、調査研究を行い、展示・公開等の活用に努めます。	・効率的な本発掘調査、史跡古津八幡山遺跡確認調査・整理作業の実施 ・発掘調査報告書刊行 ・文化財センター年報の刊行 ・上記考古資料の台帳作成及び収蔵保管	計画した本発掘調査を3件着実に実施し、調査報告書を3冊と文化財センター年報を刊行しました。曽我墓所遺跡については、発掘成果が全国的にみても類例のない貴重なものであったことから慎重に作業を行い、年度内に内容をまとめることができ、ほぼ目標を達成しました(印刷製本は令和5年度に実施)。 また、調査により発掘された考古資料の台帳作成、収蔵保存を着実に実施しました。	B:達成
			・文化財センター年報の刊行(冊)	1	1	1	1	1				
			・本発掘調査、史跡古津八幡山遺跡確認調査の確実な実施(件)	3	6	3	3	3				
2	市民	文化財センター入館者・各種イベント参加者数の増	・文化財センター入館者(人)	9,577	5,691	7,469	8,000	6,666	文化財センターで多様なテーマの企画展や講演会、現地説明会等を開催するほか、学校や地域に向かい講座等を開催して、文化財に対し関心・理解を深めていただけるよう努めます。	・企画展および関連講演会の開催 ・文化財センター外で行う各種講座等 ・遺跡発掘調査現地説明会 ・遺跡発掘調査速報会 ・各種出前講座	発掘調査現地説明会や遺跡発掘調査速報会、小学校等への出前講座について、ほぼ計画通りに実施しました。 特に発掘調査速報会では今回もオンライン配信をすることにより、県外から来県せずに参加いただくことができ、各事業の参加者から文化財に対し関心・理解を深めていただくことができました。 しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残ったことにより、入館者数などで目標人数に届かない項目がありました。	C:未達成
			・遺跡発掘調査現地説明会(人)	234	859	322	300	256				
			・遺跡発掘調査速報会(人)	147	205 来場者127 オンライン78	175 来場者97 オンライン78	120 (来場者)	165 来場者95 オンライン70				
			・各種出前講座(人)	—	1,563	931	1,000	1,028				
3	市民	国史跡古津八幡山遺跡への理解・認知度の向上	史跡古津八幡山弥生の丘展示館入館者(人)	49,426	29,087	26,682	33,000	27,872	国史跡古津八幡山遺跡の認知度を高めるために各種イベントを開催するとともに、企画展や講演会等を開催し、史跡の理解を深めることに努めます。	各種イベントを行い古津八幡山遺跡を広く知っていただくとともに、関連する企画展や講演会等を行い史跡の理解を深めるための調査研究を行います。	今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残ったため、入館者が目標を下回ったものの、計画した企画展、講演会等の各種イベントを全て開催し、参加者から古津八幡山遺跡についての理解を深めてもらいました。	C:未達成
			・企画展(回) ・企画展関連講演会・講座(回) ・企画展展示解説(回) ・確認調査現地説明会(回) ・各種募集イベント(回)	26	20	20	17	17				

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>文化財センターは、国史跡古津八幡山遺跡・弥生の丘展示館と共に、埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存し、活用を図ることにより、文化財に対して市民の関心・理解を深めてもらえるよう、広く市民に文化財に関する情報を発信していきます。</p> <p>埋蔵文化財については、発掘調査を行い、発掘調査報告書を刊行します。さらに考古資料の再整理・台帳整備を行い、資料の適切な保存管理に努めます。また、有形民俗文化財についても台帳整備を進め、確実な保存管理を行うとともに、学校の社会科学習等での活用にも努めます。</p> <p>埋蔵文化財に関する調査・研究を行い、成果をご覧いただけるよう22回の企画展を開催します。同時に、市民ボランティアとの協力・連携を図り、展示解説など市民からの要望に対応できる施設運営を目指すと同時に、学校や公民館への出前講座や市政さわやかトーク宅配便の利用促進に取り組めます。</p> <p>弥生の丘展示館では国史跡古津八幡山遺跡の理解を深めるための調査研究を行うとともに、2本の企画展をはじめ各種イベントを開催し、国史跡の認知度を高めるように努めます。</p> <p>また、北東域の史跡指定地外の確認調査を実施して、昨年見つかった方形周溝墓やその周辺の内容把握を行い、史跡を適切に保存するとともに調査成果を広く発信します。</p> <p>毀損した復元竪穴住居4棟について修繕を行い、工事のようすを一般公開します。</p>	<p>令和4年度は、目標とした遺跡の発掘調査や調査研究、考古資料の収蔵保存、また、新潟市文化財センター及び古津八幡山遺跡歴史の広場における文化財等の活用事業について、ほぼ計画通り実施し、市民のみならずから文化財に対し関心・理解を深めていただくことができました。</p> <p>しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、特に、館の利用者の大きな割合を占める小学生と保護者への流行が多かったことにより、各施設の入館者数や学校関係の事業参加数が減ったことで、一部の項目で目標値を下回ってしまいました。</p> <p>新潟市文化財センターでは、今後とも市内における貴重な遺跡の発掘調査、研究を確実に行うとともに、その成果を活用し市民のみならずから文化財に対して広く関心・理解を深めてもらえるように、わかりやすく情報を発信していきます。また、初めて新潟美術館と共催して企画展を開催しましたが、今後も他施設とのさらなる連携に取り組んでいきます。</p> <p>古津八幡山遺跡歴史の広場では、毀損した復元竪穴住居4棟の修繕工事を実施し、途中、一般公開も行いました。今後とも史跡を適切に保存していくとともに、市民のみならずから学習や憩いの場として利活用頂くために、広場の維持・管理を図っていきます。</p>